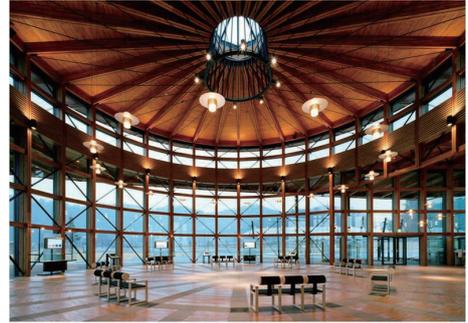


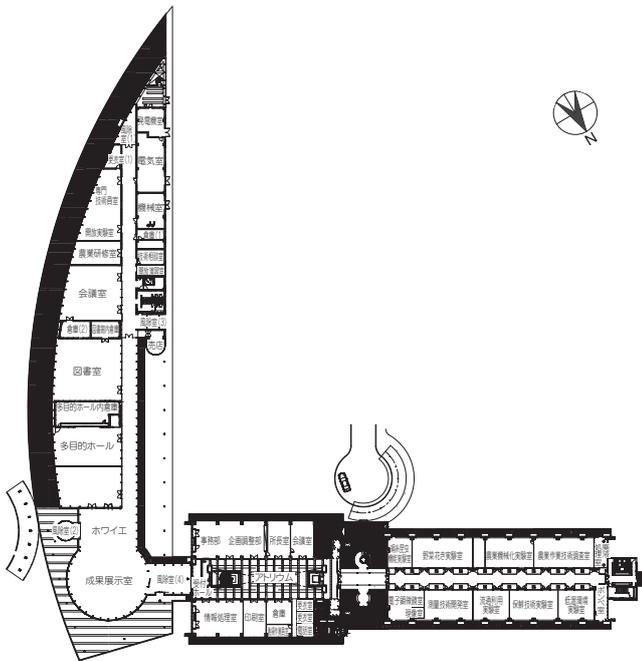
# 福島県農業総合センター（東北地区）



外観



交流棟内部



1階平面図

所在地 : 福島県郡山市日和田町高倉字下中道 116 番地  
 敷地面積 : 172,000 m<sup>2</sup>  
 建築面積 : (研究棟) 2,640.53 m<sup>2</sup> (交流棟) 4,076.62 m<sup>2</sup>  
 延床面積 : (研究棟) 7,039.93 m<sup>2</sup> (交流棟) 2,594.49 m<sup>2</sup>  
 構造・階数 : 研究棟 RC 造 地上 3 階  
 交流棟 RC 造 一部 W 造 地上 1 階

事業者 : 福島県  
 設計者 : 株式会社松田平田設計  
 施工者 : オオバ・佐藤・村越特定建設工事共同企業体 / 陰山建設・白鳳社・蔭山工務店特定建設工事共同企業体  
 竣工年月 : 平成 17 年 7 月  
 総工事費 : 4,763 百万円

本施設は、6 試験場を集約再編整備し、研究機能の強化、施設の効率的活用を図ったもので、広い観点からの研究、教育の実施、研究テーマの連携が行われるようになった。また、農業体験教室や広報活動による農業への理解促進、さらには地域農業の活性化にも一定の成果を上げている。地或に開かれた施設として、土曜日曜も視察案内を行い、小中学校の授業にも活用されている。年間来場者も多く、会議室、ホールの稼働率も高く、県外利用者も増えている。施設は、交流棟を中心に木材を積極的に活用した設計となっている。県産材を県内で集成材化して鉄骨と組み合わせ、木割の美しさを引き出すスケール感・リズム感にも配慮している。また、再生木の高断熱サッシの開発や、エコトレンチと屋上の風向板による換気システムなど、資源の循環と省エネルギーにも十分な配慮が払われている。